
さよならは言わない

N・Izumi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

さよならは言わない

【Nコード】

N4217Q

【作者名】

N・Izumi

【あらすじ】

コナンから突然の別れを言われた蘭のお話

「蘭姉ちゃん」

まるで自分の弟かのように可愛がってきた 小さな男の子。

「僕ね…」

真実を掴む、大人びた一面を持つ男の子。

「蘭姉ちゃんとおじさんとお別れしなきゃならない…」

それはあまりにも突然すぎた。

涙が出た。

温かい雫が、ポロリと頬を伝い落ちたのがわかる。

「一週間ぐらい前にさ…電話が来たんだ」

「……」

「お母さんが、こっちに来ないかって」

「……」

「正直、僕迷ったよ」

「……」

「答えを出すのがつらかった。でも、」

「……」

「やっぱり僕、親には適わなかった…！」

君は悲しそうな目で、私を見た。
今にも泣きそうな目で。

「…そんなの…」

「ついて行くなって言っちゃった」

君はそうやって笑う。

「…う…よ」

「蘭姉ちゃんやおじさんにはこれ以上迷惑を掛けたくないのもあるけど、やっぱり僕にはお母さんとお父さんが必要…」

「嘘よ！」

「え…？」

「コナンくん、いつもそう！いつもいつも私にはなにと言わないで…！」

「蘭姉ちゃん…？」

「私に何も言わないなんて酷いよ…突然すぎるから受けとめられない…！」

「…ごめんね」

「謝っても…なにも変わらないじゃない…」

「ごめんね…蘭姉ちゃん」

「謝らないでよ…」

「ごめんなさい…でも、でもね」

「なに…？」

「また来るから…」

「え？」

「一生のお別れなわけじゃないから…また来る」
君はへへ…と照れくさそうに…。

「コナンくん…！」

「だから待ってて…死んでも蘭姉ちゃんの前に…」

「…馬鹿ね。大袈裟すぎるわよ！」

どこかの誰かさんみたいに

「うん、そだね」

君は笑った。

「必ずだよ…？約束だからね、コナン君」

あなたは私の知らないところへと旅立とうとしていた。

だけど、さよならは言わないよ。

また会うんだもの。

e
n
d

(後書き)

サイトに載せていた小説です。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n4217q/>

さよならは言わない

2011年1月28日04時22分発行